

# 『戀愛ヒロインマーティン』(恋愛ヒロイン)キャラクター』

- 1 ○登場人物
- 2
- 3
- 4
- 5 ・空島 祥和(ヒトコ ハミタケ)CV空堺礼  
6 26歳。180cm。  
7 都心の上場企業で働くところ。  
8 井出藍(あいだいりん)コーディネーター。豊かな豊かな笑顔で、仕事も恋愛も「つかつかと輝く」。  
9 上司「ヒトコハミタケ」は仕事も恋愛も「輝くところ」。  
10 仕事は恋愛も「輝く」と思っているが、結婚を始めたのに距離感を抱かれていて、それが、  
内面では恋愛よりも恋愛よりも性格を「輝く」。  
11 ヒトコハミタケの「輝く」が好き。  
12 ヒトコハミタケの「輝く」が好き。  
13 仕事を重ねて「ヒトコハミタケ」の後ろ姿も好き。  
14 神田セリヒトコハミタケ等の関係にならなかったこと「輝く」。  
15 ベトナムの母ヒトコハミタケは母性を抱いていたが想いが強くなつて、  
口調がおかしくなつた。  
16 ヒトコハミタケ。  
17 ヒトコハミタケ。  
18 ヒトコハミタケ。  
19 ヒトコハミタケ。  
20 中小企業のSOL。ヒトコハミタケの「輝く」が好き。  
21 初めは取引先の空島祥和(ヒトコハミタケ)に惚れこむが、  
不器用ながらも優しく性格に惹かれていた。  
22 ヒトコハミタケ祥和と恋人関係であるが、  
23 年上かつ人生の先輩として敬意を抱いていた。  
24 神田の語る恋愛にはもの、無理して相手を「輝く」。  
25 神田の語る恋愛にはもの、無理して相手を「輝く」。  
26 わかづきの恋愛。  
27 わかづき。  
28 わかづき。  
29 空島祥和(ヒトコハミタケ)  
30 デザイナーチームで説明されたあなた。  
31 「一人やつで恋(アリ)とかスジだつたため、少しおかしながわらじめの恋(アリ)。  
32 仕事の疲れを癒し、祥和との恋愛(恋愛)も束の間…恋人としての世話を癒すために彼  
の車の車椅子(車いす)を貸して…。  
33 慣れなごとにハンドルサポーターを胸元に腰つまみ。  
34 おおあおカーヤクスが始まつた。  
35 36



- 73 DHM: $\odot \rightarrow \odot$ 上
- 74 祥和「……せこ、咲木さんいつも。ハズマーテストのお土産」
- 75
- 76 祥和「え、おひがしどこか。……おつかれだつるのやめあつたんだつるのな。
- 77 ……せ、おひがり、駅前ねー」
- 78
- 79 ルローハ「うわあ……スジゴコ綺麗な星君……」
- 80
- 81 DHM: $\odot$
- 82 祥和「綺麗だね、じいじの星君。地元の人しか知らない隠れ観光スポット」
- 83
- 84 祥和「俺も何回か来た! ジルが多かったんだだけ」
- 85
- 86 祥和「仕事とか」「やべーで」行や語あつた時に…
- 87 夜に車だつて「ジルが来て、星君のなかにボーリンかって」
- 88
- 89 祥和「色々あるじゃんやつたんやつあるから、なんか遡る全部が古い星君でキト…
- 90 も、なんとかなるだつて」只坂わいばんだ」
- 91
- 92 祥和「お前も『最近仕事忙しこ～』ってさやこしたん。
- 93 田嶋「頑張るのも大切だね、たまには仕事を離れて…
- 94 ちょっと時間も必要かなついで」
- 95
- 96 祥和「…ルローハのせ口黙り、ホント甘い福井」人やつの時間がほつかつただけ……
- 97 なんじよ
- 98
- 99 ルローハ「お、あつがんばりやるか?」
- 100
- 101 祥和「こころ、お祝なごい。おつやあつがんばせ、じいじのやつがんばる。
- 102 103
- 104 DHM $\odot \rightarrow \odot$ 移動
- 105 祥和「……な、おのまが、動かんこど……」じいわ、四十五分
- 106 (数回キス→トヤープキス×10秒)
- 107
- 108 DHM: $\odot$
- 109 祥和「え、……恋にキスしてピックついたか? ま、たまにせこのも懐くんな」

- 110  
111 神田「……せ、懸賞の赤。驚いて懸賞を取る…」  
112  
113 ドローハ「…やへ二へんご、こへ…」  
114  
115 (腰こすりの上り)   
116 神田「やへ二へ…な二だい、今日は腰くじけただな。  
117 ……二二も、腰くじけただな。」  
118 (トマーフサヘ:一〇三)  
119  
120 神田「…腰くじけただ…腰くじけただ…」  
121  
122 神田「……腰くじけただ…腰くじけただ…」  
123  
124 ドローハ「ビ、ドカ…神田さん…腰くじけただ…」  
125  
126 神田「腰くじけただ…腰くじけただ…腰くじけただ…」  
127  
128 神田「腰くじけただ…腰くじけただ…腰くじけただ…」  
129 ……腰くじけただ…腰くじけただ…腰くじけただ…」  
130  
131 ドローハ「ビ、ドカ…」  
132  
133 神田「…ドカ、シカばくし…ビト…イハ…サカのなこやへだな。お福せ」  
134  
135 神田「…シカの腰くじけただ…」  
136 カヘル腰くじけただ…」  
137  
138 ドローハ「シ、腰くじけただ…」  
139  
140 神田「腰くじけただ…」  
141  
142 DHM:③  
143 (声)「ヤマセやがた」  
144 神田「…トシトナリヤ、トシヤ…」  
145  
146 ドローハ「カム…」

147  
148 DHM:③か、②移動  
149 祥和「やがて」外じゃつぱりへ。…せうじうじうむ、#れ」  
150  
151  
152  
153  
154

## ●収録区切り②

- 155  
156  
157 (車上)眼の  
158 (SE:車のドア開閉音→騒音)  
159  
160 ドローハ「…」  
161  
162 DHM:○→○(車上)轟つドローハ「」  
163 祥和「」  
164  
165 ドローハ「ビ、ドカヘ…」  
166  
167 祥和「大丈夫だつて…か?夜中で轟つて、人もあんまつ来なこない」  
168 ルネ「」  
169  
170 DHM:○  
171 祥和「…せせ、ルネドカヘややか狭つか~…距離、さうへかれてやがむ」  
172  
173 祥和「今口せ」  
174 「今おで歎してやれなかつた分、たつぱつ」  
175 (キス数回→トマーフキス15秒)  
176  
177 祥和「…キスだよでんぐした顔つやがつて。  
178 ルネ「耳あで震つた顔つて、かわいいやつ。  
179 …今度は耳、ちゃんと震つてわかるかな」  
180  
181 ドローハ「せせ、せせ、祥和さん……」  
182  
183 DHM:○  
184 祥和「涙つたまないよせつないつて……」  
185 「今日せたつぱつからねづがつてもいい」  
186 (耳舐め:10秒)  
187  
188 ドローハ「やつ…おもつ…」  
189  
190  
191



- 229 DHM:◎ホム○終輪
- 230 犬印「嫌へ、たぬ……ぬへ…ぬへ…ぬへ…」
- 231 個撮、お握の墨鏡の瞳孔の壁かぬい縁上につけられたよもや。
- 232 233 ドロマハ「…よ、よだり…」
- 234 235 DHM:(○)
- 236 犬印「え…懸念されしも。…なでん、墨鏡の墨色のぬる上懸念したが」
- 237 238 ドロマハ「ぬ、ぬへ…ぬ土シヤぬこだり…」
- 239 240 犬印「ぬへ…ぬ土シヤぬこだり…」
- 241 ……ぬだりか、顔のいたぐらで野田かなことぬのをへ。」
- 242 243 犬印「嫌だら、いやそし懸念してばなこかへ…大丈夫、じてな野田じや歌土入れのから」
- 244 245 ドロマハ「……鐵二郎君へ。」
- 246 247 犬印「鐵二郎君へ…ぬへ…」、運び出しで歌土ぬこだり。
- 248 249 ドロマハ「……」
- 250 251 犬印「……せへト顔がおこめつからぬこト顔を土へて」
- 252 253 (せへと顔を)
- 254 犬印「せへ…」
- 255 運び出しでかつたのから歌へ」
- 256 257 犬印「……」
- 258 259 犬印「おこめつ…」
- 260 261 犬印「おこめつ…」
- 262 263 犬印「回向…」
- 264 265 犬印「わがへ…」

- 267 神姫「姫君、心にこもる言葉を教わる事が出来たかな？」

268

269 ドローハ「神姫ヤア…」

270

271 DHM:○ト姫つ

272 神姫「ト姫の「ルセリ」は『ここ』でここから。」

273 「せり、どうやめたか?…腰、おぶねる。おまぐれ腰任せをかいつぶねー。」

274

275 (SE:監視用マウス)

276

277 神姫「…なんだ、全然かわいいじゃん。」

278 「…むっふい、リハビリのや放せぬんだって思えて、なにかトイだな」

279

280 (少しひどい)

281 神姫「ルセリ…ルセリのむかしの腰の事。ここかわ。…なんだかルセリのね」

282 (トマーポリス 一〇秒)

283 (ナヘンがいの腰をこじつけるの)

284

285 DHM:○ト姫つ

286 神姫「…せせ、姫君、やひー! これ以上痛いのは。大やかましくて、あくまでおしゃれだな。」

287 「…うーでもなーだらへんつ姫君…姫君が腰の事やついてたなーだな」

288 (姫君腰:一〇秒)

289

290 (姫君腰のなだれ)

291 神姫「姫の母にやつづかれてるなーい、寂しいだわーな。姫君が腰の事や腰痛かねー…」

292

293 ドローハ「玲玲玲…玲…」

294 (姫君腰:10秒)

295

296 (姫君腰のなだれ)

297 神姫「姫君、最近のなーだれがちだな。かわいい…姫君が腰、やつと腰がち…」

298

299 ドローハ「玲玲玲…玲…」

300

301

302

- 303 (乳首舐めながら)  
304 祥和「外に聞こえたかやつ……へ。耳舐だつて。」こんな夜中で来る人なんて世と云ふことな  
305 いだい  
306 (乳首舐め:10巻)  
307  
308 ドロマヘ「うひー…………」  
309  
310 (乳首舐めながら)  
311 祥和「ふう、呪わせじやうつけ。車の狭さから、俺の力が足りてあたつたやつだね。  
312 ……やつ我慢じゃなくなつたやつだ？」  
313  
314 ドロマヘ「……わらぶ、舐めちよべ、コトベ……」  
315  
316 (乳首舐め終了)  
317  
318 DHM:①  
319 祥和「ふ、かやくもねだつてやつてのこな。  
320 ものの葉週つ、次は、じる……おもしろい、體つてねえかな」

●収録回場③  
■トトシクル

- 321  
322  
323  
324 DHM:①  
325 烟草「少しあせが、お咲だか上手い……でも、トトシ、色變ひつにならへ。」  
326  
327 (SE 水瓶)  
328  
329 烟草「…やがておひつやるつゝも」煙だつてのこ。  
330 「あいかねおおだいへやく喫ひつて、ハシや煙だしゃむをうる」  
331  
332 (今しかりかいつものこと)  
333 烟草「おだいせんのせんこマジメにあがただいただいへ。  
334 「せえじゆを温ひて……濡れやかこつ感じやあこよな」  
335  
336 烟草「…おいかづきがりおじ」おが大好きなん! やかめぬでだい。  
337 「…たんやうに思はれておいたな、二二十一のやくさん」  
338  
339 DMH:②  
340 烟草「おやへて…おの上からいはれて…おいかぶしておもへか…  
341 カツカツ…カツカツ…」  
342  
343 ドローハ「えい…」  
344  
345 烟草「おーーー…無理に瓶をもぐらまかへない。幽霊むの禁止。ケガつたら死なこだい!」  
346  
347 烟草「おえぬに瓶玉つたしなこへだつたひ…俺の腕、醫へどおつかへ。」  
348  
349 烟草「やだらぬつ………瓶けん、ケガつむやつかい!」  
350  
351 烟草「血分がケガわぬのせここの」、俺を煙だらぬのせダメい!」  
352  
353 烟草「弱じ瓶、我慢こなべてこころぞれん。」  
354 「俺はお前が吸葉かよく話だしておれがついておれわ瓶も大好きなんだかい?」  
355  
356 ドローハ「……せえじゆあかへ。」  
357

- 358 祥姫「ホノアーダント。カツハシカツカハニシテ…」  
359 「だかのせり、カハスカヒルミタリナムヘ…」
- 360  
361 (舟越) 10秒)
- 362 ドロマヘ「…おう…ルイ…」
- 363  
364 ドエズ:①
- 365 祥姫「ト着の上から…おまえ」の匂つ…
- 366 スコベコ…スコベコ…つい撫でてお土産のせんじだ…~」
- 367  
368 ドロマヘ「スリウム…」
- 369  
370  
371 祥姫「…舟越) ジヤウモシカシル「だね。豊、カクカクあぬの出番がくるべんなうめ」
- 372  
373 祥姫「ニコニコ、顔のしょぎわ。…ドモ、トキヤニシ教へられなことだ」
- 374  
375 DHM:②
- 376 (戸内) デヤウモシカシル
- 377 祥姫「舟越) ジヤウモシの母、母ジギタクサガタクシヤウダネル…」
- 378 「ハハハハ舟のせくまつてねハコトコベ、ソラカラタマヌの…」
- 379  
380 ドロマヘ「…」
- 381  
382 DHM:③
- 383 祥姫「モー、トキヤニシ教へ…」
- 384  
385 ドロマヘ「…」
- 386  
387 祥姫「固カスカヘ・ミヒカヤ顔のしょぎわ…」溢張りな奴。  
388 「…」
- 389 「…」
- 390  
391 (SE 下着を脱がす音)
- 392 (SE 水音)
- 393  
394



- 432
- 433 (ヘヘ(1:10巻))
- 434 (ルローハ(總題))
- 435 (結の終ト)
- 436
- 437 神姫「え……おひ……返持ひよソイケだ……へ。
- 438 霧、山々立ク歎かせし瞬ニテ空ツヤヒムキヤヒタカスナ。
- 439 .....ナビシヤ、レの御物ヤハ1回トマハタ。」
- 440 (リラハ:10巻)
- 441
- 442 ルローハ「やハー……やだやだー……なエドウ……へ。」
- 443
- 444 (神の霊を勧かフ)
- 445 神姫「やだやだジヤナニコだハ。俺の神に返持ひよバヌヒシハ祭はズヒ
- 446 エハドヒニ取テルカニシヤナコベダカハ。」
- 447
- 448 DHM:◎姫フ
- 449 (ヒル)「ヤハナガハ」
- 450 神姫「ヌ、カハル」回織ニヒルの呪ヰトナ。
- 451 (リラハ:10巻)
- 452
- 453 ルローハ「やだやだヤダヒ……米かやハカハヒ……世のトウヘ……へ。」
- 454
- 455 DHM:◎姫フ
- 456 神姫「スハツタベ……サムキハヒト、ヌリカヘ・回カミルヒリサハトメヘ・ヌル、教ルヘ。」
- 457
- 458 ルローハ「……シルヒ……エヌハヘ、ヌリ……」
- 459
- 460 神姫「……エヌヒヘ・ヌル、エヌヒリサハトメヘ・ヌル、教ルヘ。」
- 461
- 462 ルローハ「……テモキニハシルカニルハヌル。」
- 463
- 464 神姫「……ウサギ、ニニヤ、ヌ羅、ヨツトメ。神が火をもつてニツムハシルカハ。」
- 465 女将「女将だトヨコト。」
- 466 (リラハ:10巻)
- 467
- 468



●登場人物④  
■トトコ

- 497  
498  
499  
500  
501 (SE:「ズボ、ハーピーの衣服を脱ぐ）  
502  
503 DHM:(○転)  
504 進む「お見事ですね。奥の方へ」。やがて、おじいちゃんが立った。  
505 「お祖の口癖で慈親ちゃんが、せんねるおじいちゃんが、おじいちゃんがやめた……」  
506  
507 ドローハ「…アーリーもやめ…」  
508  
509 DHM:(⊗)  
510 進む「お祖もお爺さん、おじいだ。おじいさん、おじいさん…」  
511  
512 (「…お爺さん…」)  
513 (「…お爺さん…」)  
514  
515 ドローハ「…おじいさんの書の母立手帳、残る…」  
516  
517 (「…おじいさん…」)  
518 進む「…お爺さん…おじいさん…おじいさん…」  
519 「…おじいさん…おじいさん…おじいさん…」  
520 「お爺さん…おじいさん…おじいさん…」  
521  
522 DHM:(○)  
523 進む「…お爺さん…おじいさん…おじいさん…おじいさん…」  
524 「…おじいさん…おじいさん…おじいさん…」  
525 「…おじいさん…おじいさん…おじいさん…」  
526  
527 進む「…おじいさん…」  
528 「…おじいさん…おじいさん…」  
529  
530 ドローハ「…おじいさん…」  
531  
532 進む「…おじいさん…おじいさん…おじいさん…」  
533 「…おじいさん…おじいさん…」

- 534 (挿入)  
535  
536  
537 ルローナ「世紀末のアーヴィングの戯曲で、おもな舞台は...」  
538  
539 DHM:①聴く  
540 祥和「おおひ……やうひ……戯曲がここ。やせこ、お福…舞のあが…  
541 …なん、わかつたつておたべついで…  
542 たつべつてる戯曲がおなじだねえ、せすいおおこね…」  
543  
544 祥和「まあひ……」の声…おうべつ翻訳がなかなか理解の段階もあり難だね問題…  
545 跡あかひ…」  
546 (おうべつ演劇へ 10秒)  
547  
548 祥和「おおひ……」の声…おうべつ翻訳がおなじかな…奥の口の戻りとかつ…  
549  
550 ルローナ「……おおひ…」  
551  
552 祥和「あ、身体立くなして跳ねた。見つけた。」  
553 戲じや廻かなこ…このかせん奥の子廻の入口へ…」  
554 (ピアノ 10秒)  
555  
556 ルローナ「やだひ…奥でつづつおのれやだひ…」  
557  
558 DΣエ:②聴く  
559 祥和「リリ…子廻の奥の立場立場がつまらぬやせこだねへ、ううひ…  
560 必死で戯曲廻の…おおやくかよに歌ふよに歌ふよに、おのれ我廻の…」  
561 (激しいピアノ 10秒)  
562  
563 祥和「あひじ…お福感じかわ」。戯曲、お福がおなじだね…  
564 「おおだなじ戯曲がこころだね…」  
565 (激しいピアノ 10秒)  
566  
567 ルローナ「おひおひ…おひ…」  
568  
569 祥和「…おひ…やせこ、今のお福…顔真っ赤にして、涙目でいるお福…」  
570 …お福…」

- 571 神田「俺のセニド、」「うなづいていた時（今後もこのままでは…
- 572 神田「え、今、お酒の『ル』販売が止つてゐる世話へ…」
- 573 神田「誰の向（）
- 574 誰の向（）
- 575 誰の向（）
- 576 神田「…」
- 577 ドローハ「…」「神田先生の御用事は？」
- 578 神田「…」
- 579 神田「…」「『神田ヤス』『つやなべ』…『神田』…
- 580 「俺たちは先輩後輩じゃなくて…恋人、だの〜。」
- 581 神田「…」
- 582 神田「神田の娘が嫁つて『神田』…」
- 583 「お酒の口から聞ひして…」
- 584 神田「…」
- 585 ドローハ「…」「神田のおかげで…『神田』…」
- 586 神田「…」
- 587 (煙草の火)
- 588 神田「…」「ただ…お酒の『ル』販売が止つて中止になつて…
- 589 「俺だよ…」「だか…」
- 590 神田「俺わ、」「んなにヒシチなうるうたん時…
- 591 「お前だけだから…おつまみ…歌詞…」
- 592 「お前だけだから…おつまみ…歌詞…」
- 593 (歌わぬがい癡つね♪ストレ) 10秒
- 594 神田「…」
- 595 神田「…」「お前…おつまみ…歌詞…」
- 596 「…」「歌詞…」
- 597 神田「…」「お前…歌詞…」
- 598 神田「…」「お前…歌詞…」
- 599 (歌わぬがい癡つね♪ストレ) 10秒
- 600 神田「…」
- 601 (ドローハ總理)
- 602 神田「…」
- 603 神田「…」
- 604 「…」「お前…俺まだ…」
- 605 「…」「お前…俺まだ…」

- 606 □工Σ:②から①移動
- 607 並叩「JRの体勢だ」と、お詫びの聲、かねてお譲りの方やこういふ事だな……
- 608 駅体、起り立つてやうやうへよこへ。」
- 609 610 ドローハ「…………ぐくじやまこへ。」
- 611 612 並叩「ぐくじやまこへ。」と云ひ立體転かつてたゞ、豈口禱立などへいか……。
- 613 ……Nの若者つむぎやくもつせ、今から体勢がんばらがんばるの事…
- 614 多分樂しながいと……と、一回くわぐわくわく。
- 615 616 (一回くわぐわくわく)
- 617 (体勢教職)
- 618 619 並叩「ねい……お詫びの聲だ、」と云ひ立體転かつて来た。
- 620 「ねい……Nへだ」「アバ、一セイ教へられてねうしたかたがうさんだ……。」
- 621 622 ドローハ「…………」「アバ、つまんないやうに」
- 623 624 (駅の土産物の販賣所)
- 625 並叩「…………」「アバ、黒川商店の販賣所……。」
- 626 627 ドローハ「…………」
- 628 629 並叩「…………」「諸君の事は、ぐくじやまこへ。」
- 630 ……片側やへ、片壁、片壁のNへよこへ……」
- 631 632 ドローハ「諸君の事は、二つ三つ販賣所へよこへ。」
- 633 634 並叩「…………せきあへ……煙草本派立つたのせ、お詫びの聲だからな」
- 635 636 並叩「JRの並叩タマビ……たへうつねぬえJRの煙草本派立つたのせ、お詫びの聲だからな」
- 637 638 □工Σ:①
- 639 並叩「Nの……」と云ひ来て。JRの並叩たゞくへて、抱き聲のねだる声で立つた。
- 640 (押入)

●収録区切り⑤

- 642  
643  
644 △工Σ:(①脚つ  
645 祥和「うぬぬ……やへえ！」かの方が、奥もど入る……お腹もサボシのトモ……」  
646  
647 祥和「ルビにナカホリ……熱かあつい」  
648 「カツカツヤバウヽミツウヽのがわかな……」  
649  
650 ドローハ「……えい……私わ、サセハニ……」  
651  
652 祥和「」  
653 「じやなこと顔、さつまんのだかね。」  
654  
655 祥和「……顔、近こね。……顔見いたれの爺さんこへ。  
656 ……こやこやしなこと。……俺の顔、かやんと見て」  
657 (♪ペスト) 10秒)  
658  
659 (車が廻廻る音)  
660  
661 祥和「へえへ……あた、今、車廻つてやだ……へ~」  
662  
663 ドローハ「ペリ一へ~」  
664  
665 祥和「こや岷のかこたまへ。  
666 ……でも歌ひつけた曲このつか「ハイタおたこなのが覗けたよいつな……」  
667  
668 ドローハ「やう……やだ……おまへる、おひへ~」  
669  
670 祥和「えへ……おひへる、おひへる……おまへる、おまへる……」  
671 (♪ペスト) 5秒)  
672  
673 祥和「」  
674 「俺のいへる、サハヒレつて離せなよ！」  
675  
676 祥和「ルビ……岷のせいかな……」  
677 「おまへ、壁ひ中の縁のせいかが強くなつてゐるが、かわいいだな~」  
678

- 679 DHM:③¶  
 680 (咲|咲|ヤヤヤヤヤナダル)「  
 681 咲咲「…だ、こいつは元々の…のか~」  
 682
- 683 DHM:③  
 684 (少|少|カカヒカヒカヒ)  
 685 咲咲「姫睡やホトヘルのベジビジやな~」  
 686 僕の瞳の虹ひこうの特殊な場所でヤシクベコボ...  
 687 ホヒメセツキアカツヒトモリナカタジ...  
 688 こや、姫アカシカヒカヒベツクナマヅリにまつわるヤツダル...~」  
 689
- 690 DHM:③¶  
 691 咲咲「ルースなカーリークスイモニルカ歎ハヘト...大好やだも」  
 692
- 693 DHM:③カム③移動  
 694 咲咲「...せせつ...おーだキバウヒキバウヒ...繰のセカヒカヒ...」  
 695 『坂井のゆくなみトノハノベラバーンだら』  
 696 (奥を歌わ上立ヌルヌルベテノ 10秒)  
 697
- 698
- 699 DHM:③¶  
 700 咲咲「歓、カシカシアタヒトノ...キヒヨモ福の母 カアハジニス女モ」  
 701
- 702 咲咲「あつだかバヒ『壁壁ニ坂井のここ...』」
- 703 DHM:③¶  
 704 咲咲「カツチ我慢デサルヒにまかつたり、僕の胸騒ぐでここモ。」  
 705 「ねつれ、壁ニド痕つたヒセツ...僕も、痕ヒカヒヤルタジ...」  
 706
- 707 (咲咲直筋ニ壁おつヒ)
- 708
- 709 咲咲「えへへ...土ヒヒヒ綺麗ニ痕がつただ。」(れ)僕だ土のものにて出しなむ...  
 710 キスマーチカ村はたこ...お前も僕の力ハダヒヒセツカ村土ヘ...」  
 711 (ナスマーチカ村)
- 712
- 713 DHM:③  
 714 咲咲「...」(れ)僕だ土痕セコレル、靈王の多く服着れなくなつたやつだ...  
 715 「」(れ)僕だ土痕セコレル、靈王の多く服着れなくなつたやつだ...」



- 753 ドローハ「くへ連は祥和が抜いたくなつたやつだね…」
- 754
- 755 祥和「…今度は俺が抜いたくなつて…～～…」いつかわ。
- 756 クレジット「このままヤイチヤ出来て、嬉しかったや」
- 757
- 758 ドローハ「そ…」
- 759
- 760 祥和「そ…腰こへ皿、ドローハ…うつこへ移動して、疲れたやつだよ。」
- 761 ……
- 762
- 763 DHM:①②移動
- 764 祥和「一人で横にならぬといこは余裕あるな…せり、横にならぬ。」
- 765 「布わぬから…か土ねゆ。」
- 766
- 767 (ドローハ)「布をかぶせり」
- 768
- 769 DHM:③
- 770 祥和「…ぬいぐ。せせ、一人じめ布に寝あひ……あつたかべここは」
- 771
- 772 祥和「ぬいだ脚虫、アヒテ、ヒコトもおひよいか」
- 773
- 774 ドローハ「手供みたごだからやるといぢま…」
- 775
- 776 DHM:④
- 777 祥和「手供みたごへ…おあこごだら。今日は腰張った分、
- 778 エニヒボニ俺に甘バハレバウ」
- 779 (ドローハ)「10秒」
- 780
- 781
- 782 祥和「大丈夫…あひん腰こへ皿…サウトした脚虫…ねやかしつね」
- 783 (ドローハ)「15秒」
- 784
- 785 ドローハ「そ…」
- 786
- 787 祥和「アヒテハヤのヒヒ…腰こへ皿…腰持つたらいいや…」
- 788 田中豊吉「…おおスカスカひ腰つやこな…」
- 789

790 DHM:()  
791 (耳元でヤヤカナガリ)  
792 祥和「…………寝起きだった、かな。今度はお風呂場の音がなつててあつたがいいね」  
793  
794 祥和「ねえ、…………お風呂場の音……」  
795 「あら、  
796 (蝶バサス→蝶子アーティストながるハーネット)【END】  
797  
798



- 836 ドローハ「…アッサマアリの糞便でこしハズメニードルヘ…」
- 837 祥和「…ルビセサカハエス、アッサマリの糞便物つめた糞便…」締マウル
- 838 祥和「…ルビセサカハエス、アッサマリの糞便物つめた糞便…」締マウル
- 839 祥和「…ルビセサカハエス、アッサマリの糞便物つめた糞便…」締マウル
- 840 ドローハ「近くく、やつたわ」
- 841
- 842 (かのかこのヒヤウダツヤセ墨つわせなこ様子)
- 843 祥和「…顔、立ヤシテレ。」口口口ツイキツイテ…ルビセサカのカヘ。
- 844 橋ヒ | 締マウル。……檜木、ハヌコニマ
- 845 祥和「眺たつ風だな。」となかわこごくト墨つこみの下が檜のルビセサカの…
- 846 祥和「眺たつ風だな。」となかわこごくト墨つこみの下が檜のルビセサカの…
- 847 ルビセサカ十枚セダメ」
- 848
- 849 祥和「…あつがんヒ。檜の彼女になつてくさ」
- 850 祥和「…ルビセサカのヤコヒだな」
- 851 ドローハ「…ルビセサカのヤコヒだな」
- 852 祥和「…ルビセサカのヤコヒだな」
- 853 祥和「…ルビセサカのヤコヒだな」
- 854 ドローハ「だ、祥和」
- 855
- 856 祥和「…ルビセサカのヤコヒだな」
- 857 祥和「…ルビセサカのヤコヒだな」
- 858
- 859 ドローハ「サベ、ツボニ」
- 860
- 861 DHM:○●
- 862 祥和「…ルビセサカのヤコヒだな…サベ、ツボニ。」
- 863 (ナス数回→トマーポナス15粒)
- 864
- 865 DHM:○
- 866 祥和「…ルビセサカのヤコヒだな…サベ、ツボニ。」
- 867 「…」
- 868 (トマーポナス 10粒ほどの)
- 869
- 870 (横ツボニの感じ)
- 871 祥和「…ルビセサカのヤコヒだな…」
- 872 ルビセサカのヤコヒだな…」

- 873 ドローハ「…………ね、やうやからぬやうやかぬこころへとゆきやうじやなつ……」
- 874 875 祥姫「バヘ、ヤハヤからぬやうやかぬこころへとゆきやうじやなつ……」
- 876 877 祥姫「バヘ、ヤハヤからぬやうやかぬこころへとゆきやうじやなつ……」  
ドヤ、事実じや。お前はかわいい好やうだよ。たまひなこんだわ。
- 878 879 880 ドローハ「ぬやかこからやぬんやむ……」
- 881 882 祥姫「ぬやかここへアバヘ、ぐく聞れど、ゆうのへ。」
- 883 884 DHM:⑦回かい  
(咲|咲|ヤヤヤヤヤヤ)
- 885 祥姫「バヘのした壁……あれだけ遠れてお土たのこへ。」
- 886 887 ドローハ「ぬ、咲|咲|壁への梯上ひ……」
- 888 889 祥姫「耳、嫌なの……でもダメ。かやくはあんなふうにかがい……
- 890 カヘルサヒタヌケになつて、だべヤベヤヤヤヤコトあう。
- 891 892 祥姫「耳、貧乏へ。」
- 893 894 DHM:⑦
- 895 (咲|咲|優|優|ヤヤヤヤヤ)
- 896 祥姫「好や……好や……好や……大好や……大好や……だっこ好や……
- 897 二八世ニニハヨニ歎つてゐるも……」
- 898 899 ドローハ「やあひ……」
- 900 901 DHM:⑧
- 902 祥姫「ヤー、ヤダつて逃げやだな。
- 903 904 祥姫「ルルタムツカヒテ抱きしめられながら、逃げられたんだ。
- 905 906 祥姫「ルルタムツカヒテ抱きしめられながら、逃げられたんだ。」
- 907 908 (咲|ヤヤヤヤ)
- 909 祥姫「…………おどもや、スリにゆく逃げられたなこな。」

- 910 DHM:「梅つ 神仙のながい回り方を回つて  
911 神仙「え…せの町へ…緑の町」の方…呪めぬへ…」  
912 神仙「…大分暗たくなつてやたへ、盤が重たくなつて」  
913 ルローハ「うだね…トア…」  
914  
915 神仙「え、綺麗だな。」ルローハ「櫻」ルローハ…と横転しながら腰見ゆるか、新鮮だな」  
916  
917 神仙「…」  
918 神仙「やあ、一回…盤だね」  
919 神仙「やあ、一回…盤だね」  
920 神仙「やあ、一回…盤だね」  
921 ルローハ「え、トトロ、離つても」  
922  
923 神仙「…トトロ、タメ。ルローハ」  
924 「…お前、俺が音痴なの見ていてね」  
925  
926 ルローハ「くく、ビンがやつた」  
927  
928 神仙「ビンのやつたの見たか?」ルローハ「やつたんだ」  
929  
930 ルローハ「ハ~」  
931  
932 神仙「ハ~で やダメ。…せひ、隕母撫つて。  
933 隕母わかつてお立たぬと、ハヘヘヘヘヘヘヘヘヘヘヘヘ」  
934 (隕母トヘルハ 10歳)  
935  
936 ※立壁、隕母トヘルハセコヒガモトナダヒ  
937  
938 神仙「無理立壁になづけいやこころ」  
939 母の瓶立壁立して…母の瓶立して…  
940 (隕母トヘルハ 15歳)  
941  
942 神仙「墨田起物だらう」ルローハ「うわ…」  
943 ルローハ「まだ、福かくはせたこつて詔ついたか」  
944  
945  
946

947  
洋服「揃そ」の名物のパンカニヰ、すゞゞ美蘇つをうつて圖つてたもんな。

948 ソラカラのボリュームあるけど食べられるかな?

949  
.....食べれなかつたら俺も食べてあげのよ」

950 (10巻目) テーマセミナー

952 *Journal of Health Politics*

祥和山をこれから、貢い物にも行きたいな。  
953  
表あ、今田の男やう報少しきてゆき

954  
「田の色々で勝手に済めちゃうからいいや」  
お前は以前の、何でも買つてあげる

955

956 祥吾「買い物終わった後に映画、観に行くのもいいかもな。」

957 「……でも、流石に疲れてものと並々無かぬのぢやないか」

959 10秒壁(壁紙テクニカル)

960 拝啓「罗田は余田に未だなんぞだ」、おひそみ題せたて持てり題せだぞ。

明日のことは起きた時に考えるのも、それはそれでいいかもな」

962 (御母トハトハ 10余世)

963

※祥吾も既たくなつてゐる、トハア

966  
第三章 藥理作用與藥效學

967  
祥吾「…………ふあつ……俺も、眠たくなつてきただ……」のまま一緒に、寝ようが

968

696 祥語「……おやすみなさい」

971

（数秒間を開けてから寝息20秒程）

973